



観音山ファミリーパークにカフェ(HYGGGE TIMES)がオープンしました!!(Park-PFI)

群馬県 県土整備部 都市計画課

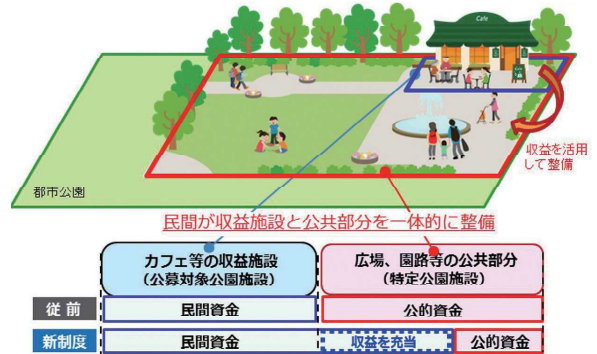
■ 制度概要

Park-PFI制度は、都市公園において、民間事業者等の資金や運営ノウハウを活用し収益施設を設置し、公園利用者の利便性を向上させるとともに、公園の賑わいを創出することを目的の1つとしたものであり、平成29年都市公園法改正により創設された制度です。

制度創設以降、数多くの公園において活用が進んでおり、令和2年7月時点で、全国48公園で導入されており、そのうち16公園で供用開始されています。

群馬県都市計画課が所管している都市公園においても、民間事業者との連携により公園利用者のニーズに対応するためこの制度の活用を推進しており、令和2年3月に県立敷島公園において、スターバックスコーヒー敷島公園店がオープンしました。

今回紹介する観音山ファミリーパークの事例は、本県2例目のものです。



制度概要

年度	Park-PFI 活用事例一覧 (48公園[41自治体、2地方整備局]、うち16公園供用)	
平成29年度	北九州市(勝山公園) [面積20.1ha] 豊島区(造幣局地区防災公園) [面積1.7ha]	名古屋市(久屋大通公園) [面積15.8ha] 岐阜県(ぎふ清流里山公園) [面積107.7ha]
平成30年度	福岡県(天神中央公園) 5/31公表[面積3.1ha] 盛岡市(木伏緑地) 6/4公表[面積0.4ha] 仙台市(榴岡公園) 6/25公表[面積11.2ha] 恵庭市(漁川河川緑地) 8/1公表[面積18.7ha] 新宿区(新宿中央公園) 9/18公表[面積8.8ha] 別府市(別府公園) 10/3公表[面積27.3ha]	盛岡市(盛岡城跡公園) 11/26公表[面積9.2ha] 堺市(大運公園) 11/28公表[面積15.5ha] 京都市(大宮交通公園) 12/7公表[面積2.1ha] むつ市(おおみなと臨海公園) 12/14公表[面積13.8ha] 東大阪市(花園中央公園) 1/11公表[面積27.09ha] 別府市(鉄輪地獄地帯公園) 1/30公表[面積7.4ha] 盛岡市(中央公園) 2/8公表[面積17.2ha] 二戸市(金田一近隣公園) 2/12公表[面積1.8ha] 湯河原町(万葉公園) 3/6公表[面積19.5ha] 神戸市(海浜公園) 3/29公表[面積14ha]
	鹿児島市(加治屋まちの杜公園(仮称))10/4公表[面積1.4ha] 近畿地方整備局(国営明石海峡公園) 10/11公表[面積83.4ha] 群馬県(敷島公園) 11/13公表[面積17.8ha] 横浜市(横浜動物の森公園) 11/21公表[面積103.3ha] 和歌山市(本町公園) 11/22公表[面積1.4ha]	群馬県(観音山ファミリーパーク) 10/17公表[面積60.3ha] 岡崎市(乙川河川緑地・中央緑道) 10/18公表[面積22.75ha・0.55ha] 富士川町(大法師公園) 11/1公表[面積6.4ha] 福山市(中央公園) 11/6公表[面積1.6ha] 神奈川県(観音崎公園) 11/15公表[面積70.4ha] 四日市市(中央緑地) 12/6公表[面積28.5ha] 豊田市(駿ヶ池公園) 12/20公表[面積95ha] むつ市(代官山公園) 3/16公表[面積1.1ha] 山形市(ひばり公園) 3/27公表[面積0.0954ha]
令和元年度(平成31年度)	平戸市(中瀬草原) 4/17公表[面積8.7ha] 福岡県(大濠公園) 4/26公表[面積39.8ha] 渋谷区(北谷公園) 5/24公表[面積0.096ha] 佐世保市(中央公園) 7/8公表[面積13.7ha] 木更津市(鳥居崎海浜公園) 7/31公表[面積2.2ha] 九州地方整備局(海の中道海浜公園) 8/7公表[面積297.9ha] 平塚市(湘南海岸公園) 8/22公表[面積58.6ha] 神戸市(東遊園地) 8/26公表[面積2.7ha] 愛知県(小幡緑地) 9/6公表[面積226.9ha] 所沢市(東所沢公園) 9/13公表[面積2.1ha] 各務原市(学びの森) 10月公表[面積4.2ha]	
令和2年度	青森県(青い森セントラルパーク) 4/27公表[面積5.1ha] 茨城県(偕楽園公園) 5/13公表[面積58.0ha] 須賀川市(翠ヶ丘公園) 6/29公表[面積28.34ha]	*令和2年7月1日以降、約110箇所において活用を検討中

(令和2年7月1日時点・国土交通省調べ) *太字は公募対象施設がオープンしている公園(2020/10/15時点)

P-PFIの活用事例一覧

■ 観音山ファミリーパークでのPark-PFI事業について

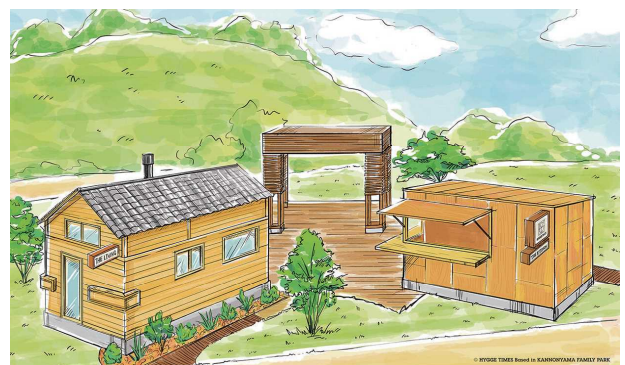
観音山ファミリーパークは、「豊かな自然の息づく夢とやすらぎのある森の公園」をテーマに整備された60.3haの広域公園で、県民の自然とのふれあいや文化的レクリエーション活動の拠点として高崎市郊外の観音山丘陵に平成15年にオープンしました。

当公園は「県民参加型公園づくり」をコンセプトに、開園当初から群馬県と地域住民等との協働での公園づくりがすすめられ、多くの県民に親しまれています。

毎年実施している公園利用者アンケートでは、公園管理への満足度は非常に高いものの、遊具や休憩施設の不足と、それらを求める意見が多くありました。

そのため、令和元年10月にPark-PFIの制度を活用し『公園利用者の利便性を向上し、当該公園のポテンシャルを活かし、公園及び地域の価値を高め魅力を創出する施設』の公募を行いました。

その結果、株式会社ヒロミヤ住建が事業予定者として選定され、令和3年1月にカフェを伴う新たな憩いのスペース「HYGGGE TIMES」がオープンしました。



© HYGGGE TIMES 提供 by KANNONZAKA FAMILY PARK



■ 店舗概要

- ・ 店舗名：HYGGE TIMES(ヒュッゲタイムズ)
※HYGGE=デンマーク語で仲間や家族と触れ合う居心地のいい時間と場所
- ・ 運営者：株式会社ヒロミヤ住建(高崎市) 住宅等の建築工事の設計・施工を営業
- ・ 営業時間：10:00~16:00 ・ 定休日：月曜日、火曜日

■ 店舗位置

森のスポレク広場と多目的広場の中間地点に位置しており、この地点でカフェ等を営業し、比較的利用率の低いエリアに新しい需要を創出します。

■ 施設の構成

主に「THE KITCHEN(フード販売)」「THE LIVING(休憩小屋)」「THE TERRACE(日除けパーゴラ)」の3要素の施設から成り立っています。

当施設全体は、周辺の公園の部分と境界線を設けることはあえてせず、公園利用者の誰もが気軽に立ち寄りくつろいでいただけるよう配置が工夫されています。

「THE KITCHEN」では、ラオスで自然栽培された豆にこだわったコーヒーをはじめ、地元食材を用いた軽食のピタサンド、テイクアウトスープなども提供しており、本公園に今までなかった新たなサービスを提供しています。夏期には、遊具で遊んだお子さんにも楽しんでいただけるよう氷を用いた冷たいスイーツを検討しています。



また、夏の強い日差しを避ける日除けスペースがないという本公園の課題にも対応しています。

「THE LIVING」は、冷暖房を完備した山小屋風の休憩スペースであり、上記のような酷暑時のクールダウンはもちろん、冬期には薪ストーブが大活躍。とても暖かく心地よい空間が広がります。

さらに「THE TERRACE」では、トレリスという藤棚のような木材を組み合わせた日陰スペースが象徴的にそびえ立ち、周辺に腰掛けながら比較的穏やかな環境で食事や休憩ができるようになっています。

さらに、周辺には乳児が寝転んだりハイハイしたりできる日除け付きの四阿風小屋フレームや、子ども達が落書きやコマ回しなどの昔遊びができるようなコンクリート平板敷の四阿風小屋フレームもあります。

このように、様々な公園利用者の方に多様な活用の可能性が広がるのがHYGGEの魅力です。ひとりでくつろぐもよし、友達と一緒に楽しむもよし、芝生に寝転がってもよし、ワーケーションで活用するもよし、皆さんなりの楽しみ方を見つけてみてください。

今後は、公園管理者側とも連携して様々なイベント等の催しも企画されているようです。

詳しくは公式Instagram等で随時情報発信を行っていますので、チェックしてみてください。



Instagram



@hyggetimes.jp

